

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年12月10日（月）

2 確認箇所

CV洞道及びその周辺（5・6号機原子炉建屋近傍）

3 確認項目

5号機電気品室溢水事象の対応状況

4 確認結果の概要

今年9月23日、5号機電気品室内が床上5cm程度冠水した事象について、前回、仮堰の設置やWEBカメラの設置など暫定的な流入防止対策等が実施されていることを確認したが、今回、その後の対応状況を確認した。

（前回確認；平成30年11月8日）

- ・東京電力によると、CV洞道^{*1}に大量の地下水等が流入し、CV洞道中間堰を越流したことが当該事象の発生原因と推定している。
- ・CV洞道に流入した地下水等の主な流入箇所は、次の2箇所とのことであったが、いずれもコンクリート又はパテ^{*2}による閉塞がなされており、目視した限り、新たな流入は認められなかった。

①CV洞道に接続されているオープントレンチ（地下道）（写真1）

②CV洞道内のケーブル処理BOX（写真2）

※1 通信ケーブル等を敷設するための専用の地下道

※2 材料を乾性油で練った粘土状のもので、くぼみ、割れ、穴等の欠陥を埋めるための塗料。

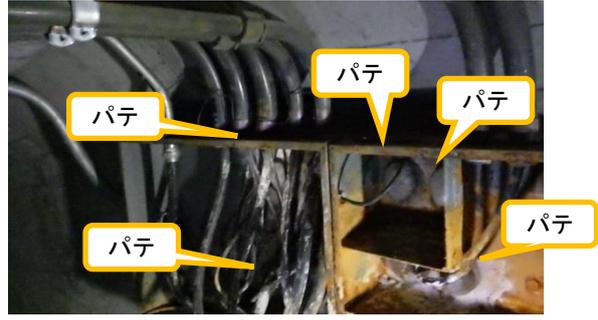


（写真1）

①オープントレンチ（地下道）の
止水措置状況



(写真 2 - 1)
CV洞道内の状況



(写真 2 - 2)
②ケーブル処理BOXの止水措置状況

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。